



つのちよう

第42号

議会だより



国道439号郷工区が完了

6月定例会

平成27年8月1日発行

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎公孝
印刷 刷 笹岡印刷所

主な紙面

議会の新しい組織決まる…………… 2～3P

町政を問う(3人が一般質問) …………… 10～15P

老人ホームを視察…………… 16P

新しい組織決まる

6月30日臨時会で任期満了に伴う正・副議長の選挙が行われ、議長に大崎公孝、副議長に川上智子が選任された。

また、常任委員会・特別委員会・組合議員等の選任・選挙が行われた。



大崎公孝 議長

梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが町民の皆様にはお元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私ことたる6月30日開催の臨時議会におきまして、第7代議長に選出をされました。地方を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、光栄に感ずるとともにその職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

今回、津野町議会初の誕生となった女性副議長にも様々

な提言を頂き、共に子育て支援や女性の積極的な社会進出など政策を進めて参りたいと考えています。

平成27年度一般会計は約65億5千万円でスタートし、すでに郷地区集落活動拠点整備事業や葉山総合センター整備事業など懸案の事業が発注されたところであります。今後においても社会資本整備事業や道整備交付金事業など、町民の生活に直結した事業の推進軸になるとともに、十分なチェック機能を果たしていきたいと考えています。

さて、来夏の参議院選挙より選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられることとなりました。本年3月の定例会には中央小学校の6年生が議会一般質問を傍聴され、それぞ

れが感想文を寄せてくれました。社会教育の一環として有意義な機会ではなかったでしょう。より開かれた議会を目指す私共としては、数年後に有権者となる中学生を含め、より多くの町民に関心を持っていただけるような取り組みをしていかなければならないと感じています。

池田町政が掲げるこれまでの融合の10年の検証と飛躍に向けたこれからの10年に何が必要なのか真剣に考えなければなりません。

地方創生、津野町版総合戦略策定まで残りわずかですが、庁内に出来た若手職員による3つのワーキングチームの議論に大いに期待するとともにこの活動をサポートできればと考えています。

内閣官房地方創生本部は計画策定にあたって地方議会の積極的な関与を求めています。町の将来に向け車の両輪となつて推進をして参りますので、ご意見を私ども議会にもお寄せいただければ幸いです。

町民の皆様には時節柄、ご自愛のうえご健勝にて過ごされますようご祈念申しあげ、

就任にあたりご挨拶と致します。



川上智子 副議長

暑さ厳しい折、皆様方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る6月30日の臨時議会におきまして副議長に選任されました。暮らして深く関わりました。暮らしに深く関わる地方議会での女性議員の役割は、ますます重要となつていると言われる中、私にとつては誠に光栄であると共に、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

地方自治における首長と議会の関係についてよく「車の両輪」という言い方をされることがあります。首長と議会が歩調を合わさなければ行政は進まないという意味ですが、

私は少し違う考えを持っています。車に例えるなら首長は車体で議会はアクセルとブレーキだと思ふのです。議会がアクセルを踏めば車は前進しますが、暴走しそうになった時、議会はブレーキを踏んで止めなければなりません。議会を構成する議員は常に有権者の代わりに行政をチェックし、アクセルとブレーキを踏む判断を下さなければならぬと考えています。

初心を忘れず議長の補佐役として町政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に誠実に努めて参る所存でございます。町民の皆様のご支援・ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

○議長選挙		
大崎 公孝	6	票
山本 昇平	3	票
中越 一俊	1	票
○副議長選挙		
川上 智子	10	票

津野町議会組織

議長：大崎 公孝

(任期：2年 H27年6月30日～29年6月30日)

副議長：川上 智子

(任期：2年 H27年6月30日～29年6月30日)

総務常任委員会

(H27.7.1～H29.6.30)

委員長 山 本 昇 平
副委員長 西 元 和 代
委員 西 森 盛 幸
〃 松 尾 信 壽
〃 大 崎 公 孝



産業建設常任委員会

(H27.7.1～H29.6.30)

委員長 中 越 一 俊
副委員長 田 中 一 孝
委員 中 山 昭 英
〃 大 崎 芳 章
〃 川 上 智 子



議会運営委員会

(H27.7.1～H29.6.30)

委員長 田 中 一 孝
副委員長 大 崎 芳 章
委員 中 越 一 俊
〃 山 本 昇 平
〃 西 元 和 代

議会だより 発行調査特別委員会

(H27.7.1～H29.6.30)

委員長 西 元 和 代
副委員長 大 崎 芳 章
委員 中 越 一 俊
〃 西 森 盛 幸
〃 田 中 一 孝
〃 松 尾 信 壽

津野町矯正施設等誘致 調査特別委員会

(H27.7.1～H29.6.30)

委員長 山 本 昇 平
副委員長 松 尾 信 壽
委員 西 森 盛 幸
〃 西 元 和 代
〃 川 上 智 子

高幡東部清掃組合議会議員

(H27.7.1～H29.6.30)

組合議会議員 大 崎 公 孝
〃 中 越 一 俊

津野山広域事務組合議会議員

(H25.7.1～H29.6.30)

組合議会議員 山 本 昇 平
〃 西 森 盛 幸
〃 松 尾 信 壽
〃 中 越 一 俊

津野町監査委員 (議会選出)

(H25.7.1～H29.6.30)

監査委員
中 山 昭 英

※ () 内は任期及び選任年月日

一般会計補正予算

6月定例会

臨時福祉給付金
事業等

5,500万円を増額

総額66億500万円

6月定例会は、12日から18日までの7日間開かれ、平成27年度の一般会計補正予算、専決処分等14件、委員会提出2件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決された。

一般質問には3人が立ち、空き家対策・スポーツの振興・介護保険事業等について執行部をただした。

27年度補正予算

一般会計補正予算(第2号)

臨時福祉給付金事業1千320万円、子育て世帯臨時特例給付金支給事業192万円、西地区塵芥車購入費790万円等、歳入歳出5千500万円を増額し、歳入歳出の総額を66億500万円とする。

可決(全員一致)

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

工事費287万2千円を増額し、直営診療施設勘定歳入歳出の総額を1億5千88万5千円とする。

可決(全員一致)

介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

介護認定審査会負担金1万6千円を増額し、歳入歳出の総額を7億6千461万5千円とする。

可決(全員一致)

条例の改正

津野町介護保険条例の一部を改正する条例

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律において、低所得者の第1号保険料軽減強化に関する改正が行われたことに伴い、平成27年度から平成28年度までの各年度において、津野町介護保険条例第2条第1項第1号に掲げる第1号保険者の保険料を2万7千480円から2万4千730円へ引き下げるもの。

可決(全員一致)

その他の議案

財産の取得について

津野消防団船戸分団第2部に配備する小型動力ポンプ付積載車を購入するもの。

可決(全員一致)

平成27年度津野町葉山運動公園総合センター整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6億2千100万円
請負者 (有)市川工建

可決(全員一致)

平成27年度郷地区集落活動拠点施設整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 9千936万円
請負者 (株)響建設

可決(全員一致)

委員会発委

津野町議会会議規則の一部改正

議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができることを加えるもの。

可決(全員一致)

津野町議会傍聴規則の一部改正

傍聴席に持ち込むことができないものの中で「つえ」を削除するもの。

可決(全員一致)

報告

町道程落線道路災害復旧工事請負契約金額を17万640円減額し、5千136万480円とする。

専決処分の承認

津野町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、平成27年3月31日専決処分【主な改正点】
●徴収猶予制度の見直しを実施し、分割納付・納入



6月定例会（西庁舎議場）

方法を規定するもの。

- 個人住民税における住宅ローン減税の拡充等措置の対象期間を1年6ヵ月延長するもの。

- 個人住民税の、ふるさと納税に係る特例控除額の上限を1割から2割に拡充するもの。

- 二輪車に係る軽自動車税の税率引き上げ時期を1年間延長するもの。

承認（全員一致）

▼津野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、平成27年3月31日専決処分。

【主な改正点】

- 基礎課税限度額を51万円から52万円に、後期高齢者支援金等課税限度額を16万円から17万円に、介護納付金課税限度額を14万円から16万円にそれぞれ引き上げるもの。

- 減税額の対象となる所得基準の内、5割軽減の算定において被保険者の数に乘すべき金額を24万5千円から26万円に、2割

軽減の算定において被保険者の数に乘すべき金額

を45万円から47万円にそれぞれ引き上げるもの。

承認（全員一致）

▼平成26年度一般会計補正予算（第7号）

各事業の決算精査により1億6千300万円を減額し、歳入歳出の総額を71億1千800万円とする。

承認（全員一致）

▼平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

施設整備費200万9千円を減額し、歳入歳出の総額を1億6千534万9千円とする。

承認（全員一致）

▼平成26年度生活環境施設整備特別会計補正予算（第2号）

維持管理費及び設置事業費195万円を減額し、歳入歳出の総額を7千638万円とする。

承認（全員一致）

▼平成27年度一般会計補正予算（第1号）

葉山運動公園総合センター整備事業費1億5千560万円を翌年度に繰り越して使用することができるとして繰越明許費とする。

承認（全員一致）

陳情の審査

▼地方財政の充実・強化を求める意見書採択の陳情

（決定） 採択

（理由）

政府がこの夏までに策定する財政健全化のあり方について、現在、経済財政諮問会等において議論が行われているが、大幅な経済成長と歳入増があったとしても政府が掲げる財政健全化目標に大きく不足すると思われる。

とりわけ社会保障と地方財政が歳出削減の標的となることが危惧されている。

2016年度の政府予算・地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実・地方財政の確立を目指すことが必要であることから採択とした。

▼「国の責任による35人以下学級の前進」を求める陳情

(決定) 採択

(理由) 少人数学級を実施している自治体では、学級規模が小さくなることで不登校や生活指導の件数が減り、学習に対する理解や意欲も高まり、また定数増で教職員が子どもと向き合う時間が増えて学校が落ち着いてきたなど、これらの施策が有効であることが報告されている。

自治体独自の少人数学級は今年度も確実に前進しているが、自治体間の格差が広がっている。教育の機会均等を保障するためには、

地方に負担を押し付けることなく、国が責任を持つて35人以下学級の前進と、そのための教職員定数改善を行うことが強く求められていることから採択とした。

▼国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情

(決定) 採択

(理由)

高校の授業料が無償化された背景には、親の経済力に関わらず将来を担う子どもへの学びを社会的に支えるという理念があるが、2014年4月の高校入学生から「高校無償化」への所得制限が導入された。

権利としての「学ぶ権利」を保障するため「高校授業料への所得制限導入」は直ちに中止し、教育予算を増やした上で「高校無償化」を復活し「奨学給付金」を拡充して給付制奨学金を確立していくことが求められていることから採択とした。



「津野町まち・ひと・しごと創生有識者会議」の初会合

▼特別支援学校の「設置基準」
策定を求める陳情

(決定) 採択

(理由)

全国的に支援学校の児童・生徒数の増加が進み、2014年の文科省調査によると在籍者数はこの10年間で3万6千800人増えている。子ども達の人数が増え続けるため、支援を必要とする子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮の基礎となる環境整備がいきとどかず不安を持つ保護者も少なくない。

▼「先生のいない教室」・教職員不足を解消するために、臨時教職員・正教職員確保のための一層の施策充実を求める陳情

(決定) 採択

(理由)

高知県では1年間に300人の教職員が病気休暇・産休等で現場から離れることが起っており、教職員不足が深刻である。

子どもたちに教育を保障するためにも、県の施策である学力向上を図るためにも「先生のいない教室」を未然に防ぐために、今こそ教職員の確保に対する緊急の取組みが必要であることから採択とした。

▼「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情

(決定) 継続審査

(理由)

陳情の内容について、引き続き審査・協議が必要であるため継続審査とした。

臨時議会

平成27年6月30日、第4回臨時会

▼平成27年度町道船野白河瀬線橋梁下部工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 5千313万6千円
請負者 (有)西起組
可決(全員一致)

▼平成27年度町道船野白河瀬線橋梁上部工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6千912万円
請負者 北村商事(株)
可決(全員一致)



改修される町道船野白河瀬線「黒川橋」

町長 行政報告



池田町長

平成26年度は、平成25年度繰越事業であった葉山総合センター整備事業が入札不調により執行が出来なかった。その他各事業については執行することができた。また、平成26年度の一般会計及び特別会計の出納を5月末日に閉鎖し、歳入歳出の決算を行った。それぞれ黒字決算となる見込みである。

高幡圏域における広域避難に関する協定
南海トラフ巨大地震に

おける被害想定では、高幡圏域の須崎市・中土佐町・梶原町・四万十町・津野町の5市町で、最大でおよそ4千400人余りの避難所スペースが不足する。5市町それぞれで収容避難所の施設状況の把握と想定避難者数の算出などにより広域避難の対象となる施設の選定を行った。

津野町においては、指定している16カ所の避難施設のうち、比較的小規模な避難所や福祉避難所、また、学校施設については早期再開を想定して除外し、7施設を広域避難所として選定をした。

各市町を取りまとめた結果、受入可能人数は約3千400人という結果が得られた。一定のスペースを確保出来たことから去る4月10日に5市町で「高幡圏域における広域避難に関する協定」を締結した。

自主防災組織の充実

昨年度に引き続き、町と社協が連携し、町内を20のブロックに分け順次地区集会所等に出向き、自主防災活動についての説明と役割

について意見交換を行ってきた。

昨年度は32地区で22の自主防災組織が規約を策定し、活動を行う組織も出てきている。今後、町としては組織の規模に合わせた資器材の整備を検討していきたい。

地域路線バスの再編

高南観光自動車が開業している地域路線バス「久礼船戸線」は、中土佐町のJR久礼駅前を起点に大野見庁舎、津野町桑ヶケ市を経由し、船戸町まで1日2往復を運行している。中土佐町から、利用率の低い公共交通の見通しの中、平成27年10月から「久礼船戸線」を地域路線バスからコミュニティバスに変更し、週2日、4.5往復で大野見診療所から中土佐町上高樋間で運行したい旨の再編案を示された。

これを受け、去る5月19日に船戸総地区に対し説明会を行った。当路線は現在、利用者が1日平均0.8人と低い状況であるが、交通弱者の移動手段として維持する必要もあることから既存のスクールバスの一般乗車を

可能にするなど、当面の対応策を検討している。高知高陵交通の路線バス、町営バスを含め、地域や関係企業の意見も聴取し、利便性と収益バランスのとれた公共交通の再編に取り組んでいく。

地方創生総合戦略の策定

町の人口減少など喫緊の課題に対し、全庁的な連携体制の確保と戦略的な施策の推進を図り、自立的かつ持続可能な地域社会を創生するため「津野町まち・ひと・しごと創生本部」を設置するとともに、その推進軸として一チーム13人の職員で構成するワーキングチーム3チームを設置し、津野町総合戦略の策定作業に着手した。

全職員に「地方創生一提案」を求め、現在144事業の提案があつている。これに「津野町まちづくり計画」や住民の意見なども反映し、専門家等で構成する有識者会議での審議を経て、10月には津野町独自の「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定する。

奥四万十博

開幕を1年後に控え「奥四万十博推進総大会」を開催し、須崎市の道の駅「かわうその里すさき」に協議会事務所を開設した。津野町では去る3月16日に町内商工業者52名の出席を得、説明会を開催し今後どのように動いていくべきかを考えるきっかけづくりを行った。

6月27日には、津野町の魅力再発見とその活用をテーマに、1回目のワークショップを開催する。このワークショップで出された「気づき」を元に、2回、3回とワークショップを重ね、形あるものに作り上げていきたい。なお、奥四万十博サテライト会場を、本町では道の駅「布施ヶ坂」に設置し情報発信をしていく準備を進めている。

天狗荘の運営状況

一般財団法人天狗荘は昨年の11号台風に伴う林道東津野城川線の道路崩壊による通行止めが大きく影響し、年間売上額が前年対比約2千970万円の減収となった。天狗荘の集客は、山岳観

光特有の天候に大きく左右されるため、経営の健全化に向けた抜本的な改革が必要となっており、本年度は地方創生先行型事業を活用し、経営改善に取り組み、また、集客力のアップに向け、県の観光、県立公園部局との協議・支援を得ながら周辺の自然資源をこれまで以上に活用するなど、天狗荘を拠点とした観光振興に取り組んでいく。

ふるさとセンターの運営状況

平成26年度はGWや夏場の天候が悪く、特に8月には台風の影響もあり、交流人口の減少、農作物の生産出荷量の減少などにより厳しい運営となり、約300万円の赤字決算となった。直販部門の収支も依然として厳しい状況にある。販売額は満天の星アンテナショップが前年比約10%の増、十津店が約8%の減である。瀬戸店は花類のみの販売から全商品取り扱いに変更したため前年比25%の増となっている。

町内の直販は風車の駅が前年比約10%の減、道の駅は約8%の減となっている。全体的な販売金額は約1千400万円と昨年並を確保しているが、品不足が伸び悩みの大きな原因である。生産者の掘り起こしなどに取り組む必要がある。食堂部門においては津野町の特産品を使用した新メニューを発売し、施設全体の集客アップを図り、販売拡大に向けて改善を図っていく。

西地区の塵芥収集状況

西地区の塵芥収集は町内の個人に車両持込にて業務委託してきたが契約相手との協議の結果、本年4月末をもって契約を打ち切った。5月より車両をリースし公園管理班による直営で収集業務を行っている。この状況は緊急的な対応であり、今後は東地区同様直営による収集に移行することとしている。このため一名の収集作業員の雇用と車両の購入経費を補正予算に計上している。

道路整備の要望活動

5月18日に開催された

道路整備促進期成同盟会総会（高知県大会）では「四国8の字ネットワークの整備促進」「地域住民の生活に直結する命の道の整備」に加え、「復興予算を通常予算とは別枠で確保したうえで、安全・安心を確保するための平成28年度道路関係予算を十分確保すること」など5項目を決議した。5月20日には須崎土木事務所との移動土木を開催し、所長以下22名の職員の出席を得、国道改良・県道改良・砂防事業・急傾斜事業・修繕工事など細部にわたる要望を行った。

教育委員会の新制度に関する事項

「子ども・子育て支援法」第61条に基づき、本年3月に子ども・子育て支援事業計画を策定した。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が4月1日より施行され、地方公共団体に首長と教育委員会を構成する「総合教育会議」の設置が義務付けられた。本町では去る4月30日に第一回総合教育会議を開催し、

幼児・学校・生涯学習における現在の課題等を確認しながら意見を出し合い議論した。今後とも教育委員との意思疎通を図り連携を持って教育の諸課題にあたっていく。

吉村虎太郎邸落成式典

6月4日に文化庁文化財部記念物課の調査官をはじめ、終焉地であり姉妹町村の東吉野村関係者等の出席をいただき盛會に落成式典を執り行った。開館後の翌6日には全国の棚田学会のメンバー30人が津野町を訪れ、虎太郎邸で四万十川流域の文化的景観に焦点を合わせたシンポジウムが開催された。今後この施設を活用し、観光案内等の情報発信基地として、また郷土学習施設、流域の文化的景観のガイダンス施設、さらには指定管理者による地域の特徴を組み合わせたイベント開催等、地域活性化の一役を担う施設として期待をしている。

※文化的景観ガイダンス施設とは文化的景観として選定された四万十川の原風景を町内外に発信する拠点施設として整備した施設。

平成26年度 各会計別の決算状況（端数切捨て）

会計名	歳入総額	歳出総額	差引総額
一般会計	76億8,221万円	74億3,737万円	2億4,484万円
国民健康保険事業	9億 43万円	8億8,193万円	1,850万円
直営診療事業	1億4,934万円	1億4,451万円	483万円
介護保険事業	7億4,178万円	7億2,461万円	1,717万円
簡易水道事業	1億6,168万円	1億6,168万円	0万円
生活環境施設整備	7,484万円	7,458万円	26万円
後期高齢者医療	8,816万円	8,730万円	86万円

一般会計の差引総額には、27年度への繰越額6,574万円を含む。

問 総合戦略の提案結果と分析は

答 提案は144件
戦略づくりに活かす



田中一孝

一般質問

田中

地方総合戦略の策定に向けて提案を募集されたが、その分析結果はどうか。

池田町長

職員は町の現状、課題を考えていく立場にある。提案は144件上がっている。津野町に対する想いを戦略作りに活用していく。

岡崎企画調整課長

提案内容は①津野町への人の流れを作る②安全な暮らしと地域③雇用の場の創出に分類しワーキングチーム3グループで検討する。



地方創生に向け活発な議論を（ワーキンググループ）

田中

役場の各職場における業務・事務の改善・改革を通年的に行わないか。

池田町長

行政業務は縦割りであり住民サービスが十分いきとどかない点もある。今後とも頻繁に改革・議論を行い改善していく。

問 行政推進に対する改善・改革は

答 今後も頻繁に改革議論を

問 今年度の空き家活用は

答 中間管理住宅として1件

田中

平成27年度の空き家活用事業の計画と取り組みは、

岡崎企画調整課長

今年度の空き家活用事業として国・県の補助を受けて中間管理住宅として1件整備する。10年間所有者から借り受けて提供する住宅である。



道の駅「布施ヶ坂」

田中

道の駅は災害時の防災拠点や地域観光窓口でその存在が重要性を増している。道の駅布施ヶ坂を地方創生の拠点としないか。

池田町長

現在、道の駅は直販事業・観光案内・情報発信を行っている。人の流れを作るという地方創生に関係する。戸田産業建設課長

道の駅を応急対策活動拠点と避難場所への移動の集合拠点や復旧資材の設置場所として位置づけている。

問 道の駅と
地方創生の関連は
答 地方創生に重要な位置づけ

問 道の駅の経営状況や
体制強化は
答 システムを改め
集客アップへ

田中

来年4月から奥四万十博が開催される。道の駅・風車の駅を運営する「(有)ふるさとセンター」の組織も含め今後組織体制強化が重要ではないか。

池田町長

道の駅施設が古くなり明

るさが乏しい。奥四万十博のサテライト会場であり、一部改修する。運営では、直販事業が大きな課題で今年度システムの改修を計画。生産者の拡大を行い「商品豊富な道の駅」ということで集客をあげたい。

田中

問 移住促進への取り組みは
答 希望者に情報提供したい

池田町長

県は今年度も移住促進に力を入れている。町としても取り組み課題だ。当面の取り組みと長期の戦略は地方総合戦略でもある。県内では枳原町が大きな成果を上げており、須崎市ではNPOと行政が連携して取組んでいる。津野町でも空き家登録制度やホームページを活用して取り組み強化すべきでは。

移住希望者になう住環境を提供しなければならぬ。今年度取り組みモデル住宅をもとにニーズを把握し方向性を示す。当面は中間保留住宅を5棟目標に行う。

移住促進に4月から相談員を配置して準備を進めている。定住していただく基本的な考え方を示しながら効果ある移住促進を進めていく。



中山昭英

一般質問

問 増税がプラスとなる

取り組みを

答 強く要望している

中山

福祉の充実も増税目的であったが、地方消費税以外に国保・介護保険事業等の福祉目的の配分があったか。

消費税が10%になったとき、町民負担軽減のための介護保険事業への配分または地方消費税率のアップを目指して町村会等で取り組むべきではないか。

池田町長

増税額4.5兆円の約9割が年金の財源と赤字国債の

発行抑制に使われ、国保関係に600億円程度が充当され、国保事業の低所得者対策として国保料の軽減処置に充てられた。

津野町も社会保障関連費が上がっており、国の財源処置なしにはインフラ整備もできなくなる。

今の社会保障制度の維持・充実のためには国がしっかりと財源確保をし、市町村の負担にならないよう強く要望していく。

発行抑制に使われ、国保関係に600億円程度が充当され、国保事業の低所得者対策として国保料の軽減処置に充てられた。

中山

問 在宅介護の24時間体制は

答 広域での議論も必要

中山

介護保険事業計画では平成37年に向けて在宅介護の24時間体制を構築する必要がありとしている。課題への取り組みを聞く。

池田町長

在宅介護の24時間体制は大変重要でありサービスの提供に向けた議論が必要である。

事業者・医療機関等単一の自治体では無理なこともあり、広域でも議論しながら探っていく。

中山

問 認知症の支援チームは
答 啓発から取り組む

介護保険事業計画で認知症初期集中支援チームの設置に向けて取り組みとしているが、設置時期と体制は。

認知症についての知識・理解のために啓発を行う。支援チームは広域の観点から議論を深めていく。

池田町長



問 スポーツの振興対策は
答 今まで以上の活用を

中山

総合センター建設に着手するが、完成後の利活用への考えを聞く。

川上教育長

これまでの利用実績を踏まえて、今までの以上の活用を図っていかなくてはなら

ない。

現在のスポーツの充実と拡大や葉山小・葉山中・勤労者体育館も含めた大会の招致や合宿の誘致・介護予防への取り組み等など横の連携も取りながら計画を立てていく。



葉山総合センター起工式

問 リフォームに
補助金を
答 考えていない

中山

個人住宅のリフォームに補助金制度を設け、高齢者の安全な住環境の整備、若い職人の育成と匠の技の伝承、雇用の場の確保を図っては。

池田町長

住宅への補助金・奨励金制度は充実していると考えられており、リフォームへの補助金は考えていない。雇用の創出、後継者対策は地方創生の戦略作りからも重要であり、議論をしていかなければならない。

問 原発の再稼働反対を

答 国、電力会社の説明責任が先

中山

伊方原子力発電所も再稼働へと進んでいる。新基準の絶対安全は無い。

町民の安心・安全のために絶対反対の立場で早急な対策を講じるべきでは。

池田町長

原子力発電については十分な知識・理解が無いから町民に不安があることは事実である。

国の施策であり、国や電力会社が説明責任を果たして国民の理解を得るべきと考えている。四国四県の知事会でも国民への説明を国に提言している。



西元和代

一般質問

問 重度訪問介護の
利用は可能か

答 該当者が出れば即、
受け入れ体制を

西元

障害福祉サービスの中の
重度訪問介護の対象者は、津野西庁住民福祉課長
これまでの障害者定義の中
に新たに難病が加えられた。
介護保険制度では対応しづ
らいケースが、今後増える
可能性もあるが、障害と介
護保険の窓口が別である。
双方の連携がとれ、実際に
重度訪問介護のサービスを
希望した場合に利用可能な
体制が整っているのか。ま
た津野町ではどこまで、ど

ういうサービスが受けられ
るのか。

今までに重度訪問介護を
利用された方は町内にいな
いが、申請があれば連携を
とりながら即座に受け入れ
られる体制づくりをし、サー
ビスに繋げたい。今は該当
者がいるという話をきいて
いないので、津野町の明確
な基準はできていない。

問 軽度生活支援事業の詳細説明を

答 既に廃止され、今後の在り方を調整

西元

町のホームページの高齡
者福祉のトップに軽度生活
支援事業が掲載されている。
介護認定を受けていない
65歳以上の高齡者にヘルパー
を派遣し日常生活支援を行
うとあるが詳しい実施概要
とそのため予算について
伺う。実態がないのであれ
ば現在の改正介護保険にお
ける準備の中で再度整備を
してはどうか。

津野西庁住民福祉課長
平成18年にこの事業は
廃止されている。ホームペ
ジ上の調整不足であったの
で早急に削除し、最新の情
報提供に努める。
池田町長

生活支援の部分で社会福
祉協議会のほつとサービス
も含め現在のニーズを検証
し、今後どうあるべきか議
論をしたうえで調整する。



問 家族介護継続支援事業の利用資格の引き下げを

答 在宅介護の実態を把握したうえで判断

西元

家族介護継続支援事業の利用資格は、要介護4・5の方の介護者のみである。非課税世帯はともかく、介護度は3まで引き下げるべきではないか。

池田町長

介護度3と4の違いは非常に見極めにくい。介護度3の方の実態をなお把握しながら包括支援センターとの協議で判断する。



短冊に願いを込めて（永野・春日橋）

問 広報紙への持ち込み原稿
どこまで可能？

答 規程に基づき編集委員会で決定

西元

広報のちようは情報の収集・発信、大きな役割を持つが、住民の持ち込み原稿についての掲載の適否の決まりは何か？また、その決まりを広報等で住民に知らせてはどうか。

岡崎企画調整課長

住民の持ち込み原稿は多岐にわたるため個別対応で編集委員会で決定する。原則、個人及び団体・法人などの広告・宣伝またはこれに類するあいさつ文等の掲載はしない。その旨、広報に掲載するかは編集委員会と協議していく。

委員会活動報告

5月28日、総務常任委員会は、特別養護老人ホーム組合「葉山荘」と津野山養護老人ホーム組合「高原荘」に関する調査を行った。



葉山荘にて



高原荘にて

○調査内容

今般の介護保険制度の改正については、4月以降順次施行されている。

団塊の世代が75歳を迎える2025年問題が10年後に迫った2015年、ついに大きな制度改革がなされることとなった。

特別養護老人ホームにおいても新規入所者を原則、要介護度3以上に限定する制度改革や2000年に介護保険が施行されて以降、9年ぶりとなる介護報酬のマイナス改定である。介護報酬見直しは介護現場にもたらす影響も含め、現状と課題について調査を行った。

●入所状況

葉山荘では、定員110人に対し、死亡・入院のため若干定員割れがある。

高原荘では、特別養護老人ホーム定員30人に対し入所希望者の待機者がいるが、養護老人ホーム定員50人に対しては退所者や重度化し特養へ移るなどで平成23年以降定員割れの状態が続いており何らか

の対策を講じる必要がある。

●施設

葉山荘は昭和47年に建築された施設であり、雨天の日には廊下が水浸しになり転倒の危険性が大きくなるなど老朽化の問題も出ている。

両施設とも太陽光発電施設を施工中であり、経費の削減が見込まれる。

●職員

葉山荘は、正職員38人、臨時職員63人である。

高原荘は、正職員26人、非正規職員39人であり、改めて介護の現場は多くの非正規職員によって支えられている現実を目の当たりにした。求人広告を出してもなかなか人材の確保は難しいという。

介護度が上がれば介護者への負担も上がる。今後は介護従事者の労働環境の改善・充実が必要となる。また、専門学校への働きかけ等も視野に入れ人材確保に努められたい。

●まとめ

今回の訪問では入所者が救

急搬送された病院で処置を行うための家族の承諾が遅れ歯がゆい思いをしたこと、施設の「看取り」等、厳しい環境にあっても創意工夫をこらした利用者や家族の意に沿って介護に努める職員の熱い思いが伝わってきた。





吉村虎太郎生家落成式に出席いただいた東吉野村の執行部・議会の皆さん

ちよこつ一言

6月4日に行われた吉村虎太郎生家の落成は、多数の出席者で賑わった。芳生野地区には重要な景観である早瀬の本橋や諏訪神社があり、特に諏訪神社の秋季大祭には町内外から大勢の参拝者が訪れる。国道439号線郷工区が完了し、郷地区集落活動センター「奥四万十の郷」開所式も盛大に行なわれ、この地を拠点として、天狗高原・セラピーロード・大引割・四万十川源流・足川渓谷等の活性化に期待する。町民一丸となって奥四万十博を盛り上げ、成功に導くことを願ってやまない。

(文責・松尾信壽)

議会のうごき

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---|
| 28 | 27 | 30 | 29 |
| 〓 総務常任委員会
(葉山荘く高原荘・委員) | 〓 津野町交通安全町民会議
総会
(本庁・委員) | 〓 国道197号等期成同盟会監
査
(西庁・議長) | 〓 津野町老人クラブ連合会
総会
(里楽・総務常任委員長) |
| 19 | 18 | 17 | 16 |
| 〓 高原畜産センター平成26
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 一般質問(西庁・議員) | 〓 津野山広域事務組合議会議
定例会
(西庁・議員) |
| 18 | 17 | 16 | 15 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 津野山畜産公社理事会
(西庁・議員) |
| 17 | 16 | 15 | 14 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 国道439号「郷工区」完了
式・祝賀会
「奥四万十の郷」開所式・
祝賀会 |
| 16 | 15 | 14 | 13 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 休会(く16日まで)
ほたる祭り |
| 15 | 14 | 13 | 12 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 第3回津野町議会議定例会
(西庁・議員) |
| 14 | 13 | 12 | 11 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 総務常任委員会
(西庁・委員) |
| 13 | 12 | 11 | 10 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 産業建設常任委員会
(西庁・委員) |
| 12 | 11 | 10 | 9 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議会運営委員会
(西庁・委員) |
| 11 | 10 | 9 | 8 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 須崎地区地域安全協会総
会
(須崎市・議長) |
| 10 | 9 | 8 | 7 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 道路整備促進期成同盟会
高知県地方協議会通常総
会、道路整備促進高知県
大会
(高知市・議長) |
| 9 | 8 | 7 | 6 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 移動土木
(西庁・議員) |
| 8 | 7 | 6 | 5 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 津野町商工会第11回通常
総会(商工会本所・議員) |
| 7 | 6 | 5 | 4 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 中央小学校運動会 |
| 6 | 5 | 4 | 3 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 全員協議会(西庁・議員) |
| 5 | 4 | 3 | 2 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 平成27年度町議会議長・
副議長研修会
(東京都・正副議長) |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 須崎地区地域安全協会総
会
(須崎市・議長) |
| 3 | 2 | 1 | 0 |
| 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 議案審議、閉会(西庁・
議員) | 〓 須崎地区地域安全協会総
会
(須崎市・議長) |

- 年度通常総会（菅農センター輝・議長）
- 警察官友の会須崎支部総会（須崎市・議長）
- 24 〓 全員協議会（本庁・議員）
- 国道439号新矢筈トンネル早期期成同盟会定期総会（仁淀川町・議長外）
- 26 〓 高知県町村議会議長会臨時総会（高知市・議長）
- 30 〓 第4回津野町議会議臨時会（本庁・議員）
- 7月 〓 全員協議会（本庁・議員）
- 6 〓 葉山運動公園総合センター整備工事起工式
- 7 〓 青少年育成津野町民会議議会（本庁・総務常任委員長）
- 高幡広域市町村圏事務組合議会等定例会（本庁・議長）
- 高幡広域市町村圏事務組合全員協議会（本庁・議長）
- 10 〓 議会だより発行調査特別委員会（本庁・委員）
- 郷地区集落活動拠点施設整備工事起工式
- 15 〓 正副議長あいさつ回り（高幡市町村）
- 21 〓 議会だより発行調査特別委員会（本庁・委員）
- 23 〓 正副議長あいさつ回り（高幡市町村外）
- 市町村議会議員研修（高知市・議員）
- 24 〓 県道窪川中土佐線・窪川船戸線改良促進期成同盟会総会（中土佐町・議長）



(わが家のペット紹介)

今回は、姫野々（新町）中山俊典さんの愛犬です。

- ・住所 姫野々
- ・名前 中山ハナ（はなちゃん）
- ・生年月日 平成24年6月15日
- ・犬種 ポストンテリア

飼い主さんから一言
ドライブと人が大好きなんです。道で会ったら声をかけてね。

編集後記

6月臨時議会で議長をはじめ各常任委員会や特別委員会等の委員交替となった。2年前の議会議員選挙で4人の新人議員が誕生。2年間の経験を踏まえて議会活動に力を発揮したい。ベテラン議員も例外ではない。

各市町村は政府の「地方創生方針」をそれぞれ向こう5年間の総合戦略として今秋までに策定しなければならない。

津野町は職員を中心に町内関係団体代表・学識者等と「津野町総合戦略」を検討している。議会も検討された素案に対する提言を行い、より良いプランを作成する責務がある。

また来年4月から「奥四万十博」が始まる。そして少子高齢化が急速に今後進む中で、「まち・ひと・しごと創生」の成果を出すためにも議員それぞれが力を発揮したい。

合併11年目、さらなる行政改革の推進と議会改革にも着手し「元氣な津野町」創りを住民と共に取り組みたい。

(文責・田中一孝)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。